

平成16年1月28日

各位

株式会社 りそなホールディングス
(コード番号8308)

株式会社金門製作所の再生支援について

当社子会社の株式会社りそな銀行(社長 野村 正朗)(以下、りそな銀行という)は、取引先である株式会社金門製作所(以下、金門製作所という)が策定した事業再生計画に同意のうえ、平成16年1月28日、金門製作所と連名にて株式会社産業再生機構(以下、機構という)に対し再生支援の申し込みを行ない、同日、機構より支援決定の通知を受けました。

その結果、りそな銀行以外の金融機関等の事業再生計画への同意または産業再生機構への債権買取り申し込みを条件とし、りそな銀行は金門製作所に対して以下の金融支援を実施致しますのでお知らせいたします。

記

1. 株式会社金門製作所の概要

所在地 : 東京都板橋区大原13番1号
代表者 : 小野田 晃夫
資本金 : 1,575百万円
事業内容 : 計量計測機器製造販売

2. 金融支援の内容

貸出金のデットエクイティスワップによる株式取得額 : 16億円
債権放棄額 : 21億円
実施時期 : 平成16年度上期中を予定

なお、当社子会社である埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、奈良銀行には本件に関する債権はありません。

3. 当該事実が当社の業績に及ぼす影響

上記金融支援実施に伴う損失額につきましては引当済であり、平成15年11月25日に発表いたしました当社の平成16年3月期業績予想に影響はございません。

以上

株式会社金門製作所の再生支援について（別紙）

本日、当社子会社のりそな銀行は、取引先である金門製作所が策定した事業再生計画に同意のうえ、金門製作所と連名にて産業再生機構に対し再生支援の申し込みを行い、同日、産業再生機構より支援決定の通知を受領いたしましたことを報告させていただきます。

りそな銀行が産業再生機構に対し金門製作所の再生支援の申し込みを行った理由としては、金門製作所からの支援要請を踏まえ、透明性を確保しつつ金門製作所の再生を確実なものとするためには産業再生機構による支援が必要不可欠なものであると判断したことによるものであります。

今般発表された金門製作所の事業再生計画は、徹底した事業の集中と選択によりノンコア事業であるコージェネレーション事業、石英事業などから完全に撤退のうえ、コア事業である計量計測事業への経営資源の集中を行ない、同時に過剰設備の廃棄やリストラを実施し収益力の改善を図るとともに、過去の独占禁止法違反事件等の反省を踏まえ、法令遵守に向けた組織体制の強化や管理体制の整備を行なうなど、コンプライアンス体制強化を行なっていくことにより、抜本的な経営改革を行なうものであり、本計画に従い事業再生を成し得るものと確信しております。

再生計画の中で、経営責任および株主責任を果たしていただくことを前提とし、りそな銀行は37億円の金融支援を行ってまいります。この金融支援額は、金門製作所を早期に再生させるためには必要不可欠な金額であると判断しております。

りそな銀行はこれまで主力銀行として資金面での支援実施等、金門製作所の再生に向け最大限の協力を実施してまいりました。金門製作所は再生に向け産業再生機構による支援を取り付けさせていただいた上での再出発となりますが、りそな銀行は今後とも引き続き、産業再生機構と協調の上、主力銀行としての役割を果たして行きたいと考えております。

以 上

平成16年1月28日

各位

株式会社りそな銀行
株式会社みずほコーポレート

株式会社金門製作所グループの『事業再生計画』について

株式会社りそな銀行と株式会社みずほコーポレートは、株式会社金門製作所グループの事業再生計画を評価し、主要債権者として引き続き支援、協力する所存であります。

以上